

いわて

議会だより

2011.12

22



雪の参道（根来寺）

Contents

- 2 第3回市議会定例会、一般質問
- 13 委員会報告
- 16 12月議会の本会議開催予定日 フォトギャラリー

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野 209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成23年 第3回定例会

案 件 名	結 果	賛否 ○…賛成 ×…反対																
		公明党 議員団		日本共産 党議員団		岩出クラブ	民主いわで		ネッ ト 岩 出									
		田畑昭二	玉田隆紀	宮本要代	市来利恵	増田浩二	上野耕志	福山晴美	田村耕一	山本重信	土岐健二	松下元	三栖慎太郎	田中宏幸	井神慶久	吉本勸曜	山下久美子	尾和弘一
岩出市暴力団排除条例の制定	可 決	○	○	○	○	○	議長のため 賛否にか かわるこ とが出来 ない。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市立保育所設置条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
損害賠償の額を定めること	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 23 年度岩出市一般会計補正予算（第 2 号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 23 年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 23 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岩出市固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
岩出市教育委員会委員の任命	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

一 般 質 問

田 村 耕 一 議員 3 頁

- ◎旧県議会議事堂、根来一乗閣の修復保全について
- ◎公民館の整備充実について
- ◎地籍調査事業の現状と問題点について

山 下 久 美 子 議員 4 頁

- ◎職員不祥事について

井 神 慶 久 議員 5 頁

- ◎台風12号による被害、災害対策について
- ◎クリーンセンター・市斎場への道路について

宮 本 要 代 議員 6 頁

- ◎防災について
- ◎前立腺がん検査について

山 本 重 信 議員 7 頁

- ◎市役所内金銭対応について
- ◎防災対策について

尾 和 弘 一 議員 8 頁

- ◎児童と乳児の命を守ろう 福島原発人災事故と地震
- ◎岩出市に隣接する地に産廃処分計画がある
- ◎ゴミ有料化について
- ◎公金の着服事件について
- ◎退職金返還について

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

市 来 利 恵 議員 9 頁

- ◎子ども医療費無料制度の充実を
- ◎和歌山市滝畑地域に、産業廃棄物最終処分場の計画があるが、隣接する岩出市の対応について
- ◎ごみの有料化について

増 田 浩 二 議員 10 頁

- ◎災害対策の強化について
- ◎国民健康保険施策の改善を
- ◎交通安全対策について

田 畑 昭 二 議員 11 頁

- ◎大池公園の安全対策について
- ◎岩出市ファミリーサポートセンターについて
- ◎各公民館の什器備品について
- ◎当市の地震計について
- ◎福祉施設について

玉 田 隆 紀 議員 12 頁

- ◎学童保育について
- ◎安全対策について

決算審査 特別委員会

（平成23年9月12日選任）

（委員長）松下元

（民主いわで）

（副委員長）田中宏幸

（ネット岩出）

（委員）三栖慎太郎

（ネット岩出）

（委員）福山晴美

（岩出クラブ）

（委員）市來利恵

（日本共産党議員団）

（委員）山本重信

（民主いわで）

（委員）玉田隆紀

（公明党議員団）

（委員）宮本要代

（公明党議員団）



田村 耕一 議員
(岩出クラブ)

- 根来一乗閣の修復保全と今後
- 公民館の整備充実について
- 地籍調査事業の現状と問題点



一乗閣

質問

旧県議会議事堂
根来一乗閣の修復保全に関する進捗状況と完成後の活用方法は。

答弁

和歌山県では、旧県議会議事堂根来一乗閣を紀の川緑の歴史回廊の拠点と位置づけ、修復保全事業に取り組むとの方針を出し、当時の岩出町では「緑のサポーター募金推進委員会」を設立し、多くの市民の皆様のご協力を頂き、約千二百万円の募金が寄せられ、県で管理し

ています。一階部分だけでも930㎡の建物の移設場所選定にあたり、埋蔵文化財の確認調査や地質調査が行われましたが

適切な場所が無く二転三転しましたが、若もの広場の東側が適地であると平成22年4月に報告を受け、遅くとも平成25年度までに完了すべく、県で取り組んでいます。

また、今後の予定として本年8月に発掘調査が終わり、分解工事実施計画に入るとの事です。修復後は歴史回廊の拠点として観光、地域振興を図るものであり、完成が待たれます。

質問

公民館で子どもが学習するのに、相応しい機器等の設置や整備充実について。

答弁

学習室を設置して欲しいとの子ども達の要望により、平成21年度から図書室を学習室として利用できるように設置いたしました。

学習室では、パソコンを設置し、インターネット検索や図書、工作、歴史本などを揃え、利用いただいています。引き続き子ども達の意見も聞きながら学習図書の充実など、学習環境の整備を考えています。

なお、地域密着型の岩出図書館と、ネットワークで連携している分室である上岩出公民館及び中央公民館の図書室も利用して頂きたいと思っています。

質問

地籍調査事業の現状と問題点。また、本事業の財源は。

答弁

地籍調査は、平成3年に着手し今年度で21年になります。着手率は89%です。成果としては、土地の境界が確定でき災害復旧事業も含め、道路、河川改修などが、円滑に進められます。また、問題点は地権者双方の意見の違いにより境界が確定され

ない「筆界未定の土地が発生し問題」であります。地権者に対して種々デメリットが発生すること

を充分説明しています。今のところ、係争事件はありません。地籍調査事業は、計画通り平成27年度で完成予定です。

事業費の4分の1が市の負担で事業委託により、経費が軽減されています。市民の財産を守る観点から一層の推進を図ります。

市民の財産を守る観点から一層の推進を図ります。



職員不祥事について



山下 久美子 議員
(ネット岩出)

組織マネジメント能力の向上を!!

質問

不祥事発生の原因は

組織として公金管理に取り組む中で、なぜ、このようなことが可能であったのか。長期間にわたって発見できなかったのか。

答弁

職員本人の公金を扱う公務員としての倫理観や、モラルの欠如もあるが、日々における収納金等の点検・確認をひとりに任せるなど組織としてのチェック機能が、十分に働いていなかったことが主な原因である。

質問

課題と今後の再発防止は

不祥事発生の原因に対して、事務処理上の課題はどこにあったのか。また、その課題をどのように克服して再発防止を図っていくのか。

答弁

現金収納に関する取り扱いの徹底、点検機能の強化、職員の意識改革を図ることはもちろん、管理監督の立場にある者は、自らの

質問

組織マネジメントについて

職責を強く自覚し、所属職員に対して的確な指導・監督を行い、事務処理過程の徹底検証など、再発防止に努めていく。

管理職の仕事に対する取り組み方として、課の運営に対するマネジメントと、それぞれの業務に対するマネジメント等の能力の向上があると考ええる。

市長は、よく「市にふさわしいまち」の実現と言われるが、市にふさわしいまちは、市にふさわしい職員が運営するもの。市にふさわしいまちを実現するために、管理職のマネジメント能力の向上に向けた取り組みは。

答弁

岩出市の現状については、第2次岩出市長期総合計画に基本構想があつて、岩出市の将来像を位置付けており、長期総合計画の方針の下に、各局・課の運営方針がある。目標に至る道筋をどうしていく

組織マネジメントイメージ図

岩出市の将来像

「活力あふれるまち ふれあいのまち」

市政運営の各分野における方針

政策推進 財政健全化 行財政改革

部・局の運営方針

使命

課題と目標設定 重点業務

課・室の運営方針

使命

課題と目標設定 重点業務

かを、マネジメントすること、より効果的かつ効率的に達成したい状態に近づけるものと考えている。岩出市として、課としてのチームワークが最も欠けているのではないかと指摘があつたが、管理監督する立場にある職員として、今後の業務の中で、この点についてもしっかりと行き届くよう留意していく。また、公金管理という面においても、今回の不祥事を受けてということではなく、日頃から、組織としての運営、課の自立的なマネジメントが図れるよ

う取り組んでいく。また、管理職が組織マネジメントの意識をもって業務を遂行しなければならぬと考えており、そのためにも、今後も引き続き、和歌山県市町村職員研修協議会が行う管理者研修などに積極的に参加し、管理職のマネジメント能力の向上に努めていく。





井神 慶久 議員
(ネット岩出)

台風12号による災害対策について クリーンセンター市斎場への道路について

- ①市道押川 1 号線の現況について！
- ②市道押川 1 号線の道路改良の計画は！
道路の新設（バイパス道）などの計画は！

答弁

岩出市においては幸いにして人的被害はなかったものの河川、農業用水路等の増

また、職員体制について、被災地支援について。

質問

岩出市においても紀の川が増水し、激しい雨が続き被害にあったということ、具体的な被害状況とそれぞれの被害に対してどのように対応されたのか、

水により、岡田・溝川・山崎・吉田の一部の地域で冠水があり、床下浸水した世帯は溝川と山崎地区の15世帯で、浄化槽のくみ取り、消毒液の散布、側溝の浚渫を行いました。自主避難者は、岩出地区公民館に4世帯4名が避難しました。



春日川

古戸川につきましては、口径200mm1基、500mm2基の計3基のポンプで対策を講じていますが、今回の増水には十分ではなく、河口付近

質問

クリーンセンター・斎場への道路について、幅員も狭く、法面には崩落が起これり応急的な対策をしている箇所があり、いつ大規模な土砂崩れが発生してもおかしくないと思います。そうなれば、市民生活に重大な影響を与えることになると思います。もしものことを考えて、新しい道路が必要であり、少なくとも現在の道路の改良

答弁

市道の現状ですが、道路幅員は狭く、法面の山は雑木林であり、沿線全体にわたって崩落の危険性があると認識している。一方東南海・南海地震の発生確率が高くなっているという状況も踏まえ、道路が通行止めとなった場合市民生活に重大な支障をきたすことから、別方向からの新設道路が必要と考えています。今後、至急調査・検討していく。



市道押川1号線

防災について

- ・ 警報が発令された場合の下校について
- ・ 避難所開設について
- ・ マンホールトイレシステムの導入について



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

防災について

質問

- ・ 授業中に警報が発令された場合の下校について

答弁

小・中学校

- ・ 教職員の指導のもと速やかに下校する。
- ・ 地域の方々に安全確保に協力いただく。

ゲリラ豪雨に伴う大雨警報発令のとき

- ・ 学校で待機させただうえで時機を見て下校する。

- ・ 教育委員会は下校か学校待機かを判断し、学校へ指示する。
- ・ 保護者にメールにより配信する。

学童保育に通っている児童について

- ・ 帰宅させず、学童保育で預かる体制も整えている。

保育所

- ・ 警報が発令されたときは、メールで保護者に知らせ、迎えにきていただく。

- ・ メール配信は入所時に各保護者に周知している。
- ・ 迎えにこれられないときや預けなければならない場合には、保護者に引き継ぐまで保育を続ける。
- ・ 安全性の確認をまず優先に考えた対応をする。

質問

- ・ 避難所開設について

答弁

- ・ 公共施設等47カ所を避難所に指定している。
- ・ 人的被害の発生する可能性が高まるなどの状況に開設する。



- ・ 担当職員を決め、休日や夜間に、迅速な開設と円滑に運営するため連携を図る。

自主避難について

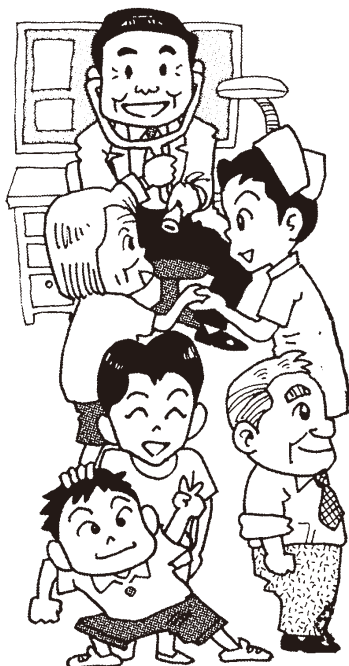
- ・ 避難を希望する場合は市役所総務課まで連絡してください。

質問

- ・ マンホールトイレシステムの導入について

答弁

マンホールトイレシステムが有効と認識



前立腺がんについて

質問

- ・ 前立腺がん検査を特定健診の項目に入れられないか。

答弁

- ・ 検査項目に加えることは考えていない。
- ・ 有効性の再評価が行われ、その結果が出された段階で検討する。



山本 重信 議員
(民主いわで)

公金着服事件対応と 防災対策について



質問

市職員2名により過去数年にわたっての、公金着服事件が発生しました。調査によりますと、事件の背景には、市役所内での現金取り扱い方法で、実にはずさんと思える公金取り扱い方法が取られていました。今まで事件が発生しなかったのが不思議な気が致します。今後、岩出市として再発防止策と職員の教育として研修先の変更をどのように考えておられるのか。

答弁

不祥事発覚後、発生原因を調査しましたところ、日々の業務の中で収納金等の点検確認が一人に任せられ、組織としてのチェック機能が働いていませんでした。

再発防止に向けて公金管理適正化ワーキンググループを立ち上げ対応を図ります。

対応策は。

①現金収納の取り扱いの徹底

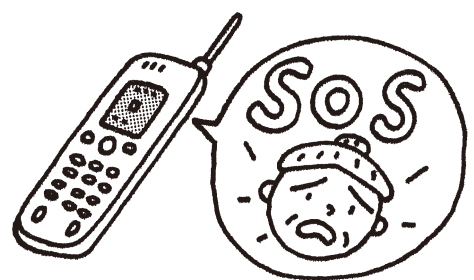
②点検機能の強化

③職員の意識改革

以上の三つの柱を基本に改善策を協議中です。

その他として

職員倫理規程とともに、行動指針を策定し研修を実施。職員研修先については、企業研修が一つの方法かとは思いますが、経理や企画部門などを受け入れてもらえる企業を見つけているのが実情です。



一日も早い信頼回復に努めます。

質問

本年3月11日に、東日本大震災が発生し、地震・津波・放射能汚染と3重の苦しみを与えました。さらに台風12号による大雨で紀南地方と奈良県に大きな災害を引き起こしました。この災害を対岸の火事とせず、岩出市の今後に生かせる対策を考えられているのか。また、内部資料等の非常時における対応策は、どのように考えられているのか。

答弁

救助派遣した職員から被災地の現状と、経験した内容についての報告会を行い、初期作業の重要性などや、地域における自助・共助の必要性を実感したところです。

市としては、被災時の今後の対応や準備すべきことを検討し、防災対策に生かしたいと考えています。

市役所内の個人情報等の内部資料の管理体制については、重要と思われるデータは毎日バックアップを取り耐火金庫に保管しております。また、万一を考え本庁舎以外への場所にもデータが保管できるように検討しております。

高齢者や障害者の方の支援が必要な場合にはどのように対応するべきか現在検討中です。保育所や児童生徒につきましてもマニュアル作成と避難訓練を実施します。

児童と乳児の命を守ろう

岩出市内の放射性物質の線量が福島原発爆発以降3倍から4倍に増加
特に『さぎのせ公園』内 ふわふわドーム周辺は $0.18\mu\text{s/h}$



尾和 弘一 議員

質問

福島原発爆発事故後の対応はどうか。

- ① 放射能に汚染されたガレキを焼却場で受入れると報道されているがどうか。
- ② 下水道汚泥の受入れはどうか。
- ③ 命の水である水道水は安全かどうか。
- ④ 学校給食は放射能汚染されていないのか、安全かどうか。
- ⑤ 放射能測定器の購入予定はあるのか。
- ⑥ 小・中学校内の放射性物質の線量はいくらか。調査すべきであるがどうか。
- ⑦ 線量計は何台あるのか。

答弁

- ① 県を通じて依頼があり、生ごみの焼却は考えていない。
- ② 汚染された土壌は借り置きされることはない。
- ③ 安全である。
- ④ 汚染されていない食材であり、安全である。
- ⑤ 購入することはない。



質問

- ⑥ 調査していない。今後もしない。
- ⑦ 線量計はないし、今後購入する予定はない。

市内を医師が調査をした所、「ふわふわドーム」の周辺に危険性があるので対策すべきである。

答弁

- ① 県を通じて依頼があり、生ごみの焼却は考えていない。
- ② 汚染された土壌は借り置きされることはない。
- ③ 安全である。
- ④ 汚染されていない食材であり、安全である。
- ⑤ 購入することはない。

② 国、県から保育所を含む各学校について測定するよう通知や指導を受けておりません。今のところ線量計を学校や保育所に備える考えはない。

質問

被災地へ派遣した職員の被ばく線量はどうか。事前に対応策をしてきたのか。

答弁

① マスクを配布し着用するよう指導した。派遣期間は6日間であり、人体や健康に影響を与えるレベルではなく、その後の被ばく量を測定していない。

家庭用ゴミ袋有料化に反対

質問

一般家庭用ゴミ袋有料化について量販店等で買うと現在1枚9円程度ですが、45円になると36円のアップになるといふことか。先般、市民から意見を集約したと思いますが何件あったのか。また、その内容、意見等はどうか。

答弁

審議会ではゴミ袋代金については減量の効果があり、市民の理解が得られるような金額にする必要がある。

乳児や、高齢者で紙おむつを使用する世帯には配慮すべきなど、32名からの意見があった。条例提案は答申を受け、市において実施計画を作成の上、住民説明会を開催し、一定の理解が得られた段階で市議会に条例改正を上程したい。

45円はすべて市の歳入になる。その後、製造する代金、販売手数料を歳出することになる。





市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

子ども医療費 無料制度の拡充を！

質問

近年、出生率の低下が社会問題となつています。

この背景には、働きながら安心して子どもを産み、育てる環境が不十分なことにあります。

全国各地で子ども医療費無料化の年齢対象引き上げを、県や市独自で広がってきています。しかし、住むところによって格差があるのが実態です。

子どもの医療費無料化は親にとって共通の願いです。岩出市で「子ども医療費無料制度拡充を求める請願署名」1万3211筆が、6月に議会に提出されたが、同時に市長への願いでもある。市民の願いにどうかたえていくのか、問われています。

市長は、1万3211筆の思いをどのように受け止めているのか。さらなる制度の充実に向け、考えはあるのか。

市長答弁

少子化が進展する中、

子ども医療費などの子育て支援は、安心して子どもを産み、育てる環境を整備する上で重要であると認識している。

しかし、少子化問題は全国的な課題であり、国及び各自治体が役割分担を明確にした上で、国全体で総合的に取り組んでいくものと考えている。現在、子ども医療費の拡充の考えはない。



ごみの有料化について

市当局は、4月にごみ有料化実施計画案を作成し、これをもとに8月に市民に対するパブリックコメントを募集しています。

質問

①市民からどれくらい意見提出があったのか。

②その内容は。

答弁

①意見提出者数32名、延べ意見件数は111件。

②・ごみ排出量について市民に知らせる必要がある。

- ・ごみ有料化ではごみは減らないと思う。
- ・1リットル1円は高い。
- ・分別を細分化するべきではないか。
- ・有料化により不法投棄が増えるのではないか。

質問

市民から提出された意見内容の公表の考えは。

答弁

市の意見を付して公表する。

市長へ質問

市長・市職員・公共施設、すべて市民の模範となり、分別・リサイクル・減量に厳しく取り組む姿勢を示すべきだが。

市長答弁

市のごみ問題、解決が重要。そのためにはごみの有料化、減量化を進めていかなければならない。パブリックコメント等々、いろいろ運用している。御協力よろしく願います。



災害に強いまちづくり

住民に安心と安全を



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



災害 岡田古戸川周辺

質問

①災害に強いまちづくり市としての課題は。②岡田地域

古戸川浸水・排水対策へ新規ポンプの増設を。③岩出市排水対策計画の年次実施計画は。④住吉川・根来川の河川改修促進を。⑤全国各地で、防災訓練を子ども達に知らせず実施している学校もあるが、岩出市での避難訓練における先生方の努力の実態状況は。

答弁

①地域防災計画の見直し。用排水路・河川の改修。自主

防災組織の結成、消防救助体制などの充実。②県で古戸川関係の検証結果を調査中。結果は年内に出ると聞いている。③根

来川は、藤崎井用水路から山田川放流ゲートの増設工事。住吉川は、鴨沼川測量設計、上中島浸水対策計画、山円福寺水路改修。④強く要望していく。⑤防災訓練は、事前に意義を理解させ、安全に行動できることを基本に指導することが重要。各学校で教育計画をたて、取り組みをしている。

道路行政、和歌山県への要望

質問

①北大池コミュニティセンター

東側交差点の見通しの改善と南北道路の改修は。②安全対策として、県に對し、岩出市が取り上げている問題地点はどこか。また、県からの回答は。

答弁

①交差点西側のカーブミラーを見やすいよう移設するが

改善された国保制度の周知を

質問

国から国保利用者の収入が減り

生活が困難になった時にも安心して入院治療などが受けられるよう、一部負担金の制度改善の通達が、昨年9月に出されています。住民へ内容周知の取り組みを。市のHPでもこの通達に関するものは載せられていません。制度が活用されるよう、国保利用者世帯すべてに知らせていくべきです。

答弁

ただいまHPに載ってはおりませんが、今後HPに掲載をしていきたいと考えております。これまで掲載してこなかった理由は、生活保護基準以下という話もあり、利用される方は非常に少ない数になるだろうと考え、預貯金関係の話もあり、基本的には個別相談時に助言していくことが適当と考えていました。制度としてできたわけですから、指摘のようにHPで掲載をしてみたい。

(注 HP ホームページ)



上岩出コミュニティセンター東側交差点



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

岩出市ファミリー・サポートセンターの支援を!

ファミリー・サポートセンター支援を!

質 問

● 今年度からスタートした、岩出市ファミリー・サポートセンター事業の課題は。

● 今後、市としてハード面・ソフト面においてどの様にバックアップして行くのか。

安全性・利便性を
図って行く。

答 弁

現在、上岩出児童館の一室を事務局がわりにして入会手続きなどを行っている。問題点としては、場所が分かりにくく、遊び室に設置している卓球台を利用する方が多く、面談に大きな支障が出ている。市としての支援は、ハード面では、本年度で耐震診断を実施し、24年度に耐震改修工事を実施したいと考えている。ソフト面は、広報紙等で事務所周辺の見取り図掲載や、

質 問

● 親水池公園としての大池公園は、特に安全性が重要であるが、万全であるか。

● 駐車場の現状と今後については。

大池公園の安全性は
万全か。

制度を紹介するなど、今後も積極的に周知啓発を行い、会員数の拡大を図るとともに、利用者のニーズも定期的に調査するなど、利便性の向上に努める。



「ファミリー・サポートセンター」

答 弁

転落防止の防護柵を設置している。

ため池への転落を防ぐために、防護柵を設置し、更に周辺の水路など危険と思われる箇所にも防護柵を設置している。

駐車場は、不法駐車や不法投棄など管理面で多くの問題があることから、駐車場設置の計画はない。

質 問

● 当市の高齢者向け福祉施設の実態は。

● 今後、市民の需要や雇用面を考慮し、建設希望に対し市として、推進する立場なのか、または規制する立場なのか、考え方を問う。

高齢者向け福祉施設
実態と今後の方針は。

答 弁

不足サービスは充実に向け取り組む。

● 当市の高齢者向け福祉施設の実



「大池公園」

● 他に当市の地震計についてと、公民館の什器備品についても質問しました。

● 他は、平成23年9月1日現在、介護老人福祉施設1カ所、介護老人保健施設2カ所、介護療養型医療施設1カ所、グループホーム5カ所があり、通所介護事業所は18カ所、通所リハビリ事業所は3カ所、小規模多機能介護事業所2カ所がある。待機者数は、介護老人福祉施設で26名、介護老人保健施設で11名、グループホームで24名である。

学童保育の 環境・設備の改善と 安全対策について



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

質問

授業終了後、指導員の保育のもと宿題やおやつを食べたり、また、遊びなどをして保護者が迎えにくるまでの時間を過ごす学童保育ですが、岩出市総合保健福祉センターで行われている学童保育での環境及び設備の改善点について。

設備の

改善は

困難

答弁

現在の学童保育室に手洗い設備を設置することについては建物の構造上困難です。従来どおり手洗いは東側のトイレの手洗いを、また、飲み水等については保険推進課及び社会福祉協議会内の湯沸かし室を今後とも利用していただきます。

現状の

まま



安全対策に

ついて

質問

さぎのせ公園がオープンし市民の皆様が大変喜ばれて公園を利用されていますが、さぎのせ公園に向かう新設道路で、開発に伴い近隣住民との話し合いの中で、信号機設置が要望されていると思います。信号機設置に向けての現状について。

岩出警察署に

要望をする

答弁

信号機設置の要望を提出していますが、設置の優先順位は低いと伺っています。

和歌山県公安委員会が県下全体を視野に入れ、設置の必要性、妥当性、緊急性等を総合的に判断し、設置しています。

また、新しく道路が開通すると、必然的に信号機が必要となり、優先的に設置されます。

しかし、地元住民の要望でもあり、今後の交通量の変化等利用者が増加する可能性も考えられ、引き続き岩出警察署に対して要望します。

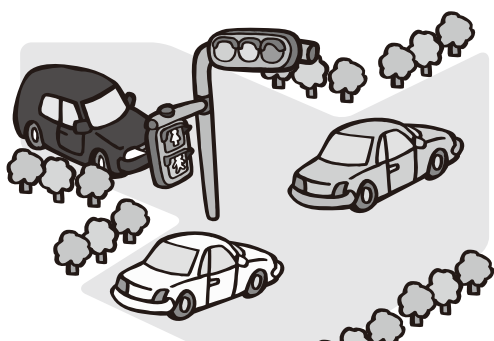
質問

県道粉河加太線の山村バス停近くの交差点の時差信号などに、標記要望の考えについて

対策を検討

答弁

要望箇所である岩出市山の交差点は3現示の交差点で、通常の2現示信号とは異



なり交差道路の信号が赤になったからといって進行方向の信号が青とは限らないということになります。現状は見切り発車する車があるということとで、岩出署に対策をお願いしたところ、進行方向の信号をしっかりと見て運転していただきたいということです。

各常任委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 井神 慶久
副委員長 土岐 健二
委員 上野 耕志
委員 市来 利恵
委員 山下久美子
委員 宮本 要代

☆平成23年10月13日

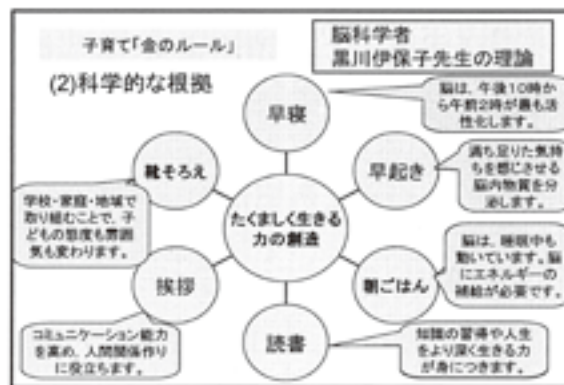
岩国市の防災対策について、危機管理課から説明を受けました。また、岩出市からの質問に答えていただきました。

・自主防災組織の状況について

・備蓄について

☆平成23年10月14日

三原市教育委員会より子どもたちの元気の素「金のルール」について説明を受けました。



広島県三原市

☆平成23年9月14日

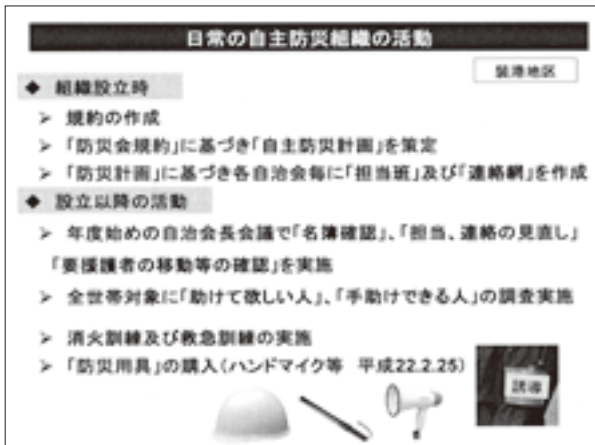
委員会を開き、台風12号の岩出市の被害状況と被災地への市の対応について総務課に聞く。



水位の上昇した紀の川

防災対策について 子どもたちの元気の素 「金のルール」について

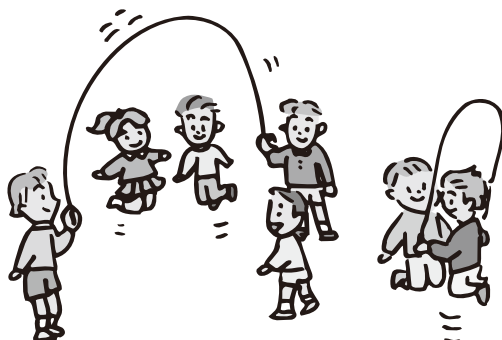
委員会で視察・研修しました



山口県岩国市

岩出市からの質問に答えていただきました。

- ・三原教育の日制定について
- ・「金のルール」について
- ・保護者への対応について
- ・読書環境について
- ・靴そろえを取り上げた理由について



＊9月議会の委員会に付託された議案は次の3件でした。

- ・岩出市暴力団排除条例の制定
- ・市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定
- ・平成23年度岩出市一般会計補正予算第2号の所管部分

厚生常任委員会

委員長 山本 重信
副委員長 三栖慎太郎
委員 田中 宏幸
委員 福山 晴美
委員 増田 浩二
委員 田畑 昭二

山崎北保育所の 民営化について

平成24年4月より、山崎北保育所の私立としての運営が始まります。

ついては、所管委員会として、移管先決定プロセスやスケジュール等の概要を、抜粋して、お知らせいたします。



○移管法人
社会福祉法人
ようすい保育園

○選定方法

選考委員会を設置し、書類審査、ヒアリング、プレゼン、現地調査等厳正な審査を実施の上選考が行われた。

○移管・運営の条件

▽移管前引継保育は、

6ヶ月間行う。

▽調理員の引継ぎは、

1ヶ月間行う。

▽0歳児保育、延長保育、障害児保育、一時保育を実施する。

▽園長、副園長は10年以上の実務経験。

▽保育士は4年以上の経験者3分の1以上。

▽保護者、移管法人、市で三者協議会設置。

▽移管後4年間（在所児修了）は、山崎北の名称を残す。

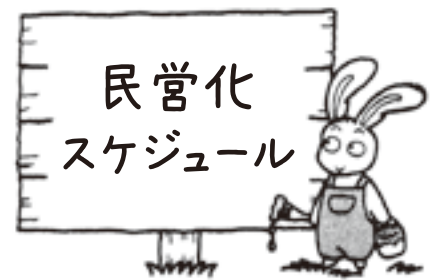
▽年間行事は、可能な限り継続実施。

▽制服、カバン等を変更する場合は、三者協議会に諮る。

▽制服、カバン等を変更する場合は、三者協議会に諮る。

協議会に諮る。

○スケジュール



	H23 年度 12 月	1 月	2 月	3 月	H24 年度 4 月
移管法人 選考			契約等 事務処理	契約等 事務処理	私立保育所 運営開始
保護者 説明会			保護者説明会 民営化を控えて		
引継保育	引継保育	引継保育	引継保育	引継保育	

ファミリー サポートセンター について考える

毎日新聞平成23年10月22日 大阪朝刊に、気になる記事が掲載されていましたので、問題提起の意味も込め、紹介させていただきます。

（以下抜粋引用）

「ファミリー・サポート・センター事業」（ファミサポ）で06年度以降0～9歳児の重傷事故が15件起きていたと、厚生労働省が21日発表。

大阪府八尾市で0歳児が寝ている間に心肺停止状態になった例もあった。

同省は再発防止のため、講習の充実などを自治体に通知した。

ファミサポは昨年度、全国637市区町村で実施され、子どもを預かる会員が約11万人、依頼会員が約32万人、双方を兼ねた会員が別に約4万人。国補助事業として自治

体が行うが、トラブルが起きても会員同士の解決が原則。公費で保険加入を義務付け、事故に備えている。

育児支援施策に詳しい山縣文治・大阪市立大学教授は「市民参加型の保育事業の芽が摘まれないよう、重大な事故の際に子どもを預かった市民だけでなく、自治体も責任の一部を取る仕組みが必要だろう」と指摘した。

（抜粋引用終わり）

ファミサポは、国や市が関わる事業だからこそ市民も信頼して使います。安心してご利用いただくためには行政のバックアップは必要不可欠！委員会としても、事業の継続・発展のため、努力してまいります。



建設常任委員会

委員長 田村 耕一
副委員長 玉田 隆紀
委員 吉本 勸曜
委員 松下 元
委員 尾和 弘一

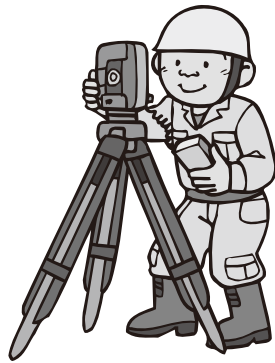
第3回定例会において
委員会に付託されました
議案4件について、9月
16日に慎重に審査を行
いました。

所管の議案は全会一致で
すべて可決し、市道路線
も全線認定となりました。

議案審査に先立ち、市
道路線の認定のための現
地視察と供用開始が来年
に迫った湯窪中島線の現
地視察を行いました。



市道路線の認定にお
いては、右の写真のよう
に、道路の安全対策が図
られているか確認をして
います。



上の写真のように道路
の幅員や延長等実際に計
測し確認をしています。



開通が待たれる湯窪中島線

住民の皆様にご利用して
いただけるものとなります。
供用開始は、来年4月
の予定となっています。

岩出市の幹線道路とな
る、湯窪中島線は9月16
日現在、工事の進捗状況
は88%となっています。
完成すれば、安上中島
線として、岩出市の南北
を結ぶ重要な道路として



岩出市イメージキャラクター
そうへいちゃん



いわで ふおとぎゃらりい



12月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。

12/ 2(金)、7(水)、16(金)、20(火)、21(水)、26(月)

編集後記

平成23年は自然災害が相次ぎ、そのうえ、原発の問題も深刻であり、その甚大な被害を目の前にして、生きることの不安をおぼえた一年でした。

しかし、復興に立ちむかう人の力強さや、支え合いのネットワークから、多くのことを学ばせていただきました。

岩出市は9月の防災訓練が延期され、12月に予定されている。積極的に参加しようと思う。

12月議会が始まります。ぜひ、傍聴におこし下さい。

議会広報常任委員会

委員長 松下 元

副委員長 宮本 要代

委員 三栖慎太郎

福山 晴美

市来 利恵

吉本 勸曜

土岐 健二

尾和 弘一